

令和9年度 沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科 (修士課程) 学生募集要項

◆第Ⅰ期試験

- ◇障がい等を有する等の配慮の申請期限
令和8年8月19日(水)
- ◇出願期間
令和8年9月18日(金)～9月28日(月)※9月28日郵送発信局消印有効
- ◇試験日程
令和8年10月24日(土)～10月25日(日)
※集合時間・試験会場等の詳細情報については、試験日前日(10月23日)の午後4時に首里当蔵キャンパス管理棟前及びウェブサイトに掲示するので必ず確認すること
- ◇合格発表
令和8年10月27日(火)午前10時
※本学ウェブサイト掲載
- ◇入学手続
令和8年10月29日(木)～11月3日(火)※11月3日(火)郵送発信局消印有効
※窓口受付時間：午前9時～午後5時(土・日、祝日を除く)

◆第Ⅱ期試験

- ◇障がい等を有する者等の配慮の申請期限
令和8年10月29日(木)
- ◇出願期間
令和8年12月7日(月)～12月14日(月)※12月14日郵送発信局消印有効
- ◇試験日程
令和9年1月30日(土)～1月31日(日)
※集合時間・試験会場等の詳細情報については、試験日前日(1月29日)の午後4時に首里当蔵キャンパス管理棟前及びウェブサイトに掲示するので必ず確認すること
- ◇合格発表
令和9年2月5日(金)午前10時
※本学ウェブサイト掲載
- ◇入学手続
令和9年2月10日(水)～2月16日(火)※2月16日(火)郵送発信局消印有効
※窓口受付時間：午前9時～午後5時(土・日、祝日を除く)

令和8年6月



〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4
電話 098-882-5080
<https://www.okigei.ac.jp>

目 次

I	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
II	募集人員	1
III	出願資格	2
IV	選抜方法	2
V	試験日程	3
VI	試験科目、配点と試験曲等	5
VII	受験上の注意	10
VIII	不正行為	10
IX	出願手続き	11
X	外国人志願者に対する特別措置	13
XI	合格発表	14
XII	入学手続き	15
XIII	過去の試験問題の公表	15
XIV	入試成績の情報提供について	16
XV	入試説明会について	16
■	大学院案内	17
■	大学院研究室一覧	18
◆	研究計画書等提出書類	19

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科 (修士課程)

I アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

音楽芸術研究科は、音楽芸術の各分野における高度な専門的能力を養成することを目的としています。その上で、建学の理念に則り、沖縄の伝統芸術の技法的特徴やそれらを生成した歴史的・文化的・風土的特性等にも配慮した高度な実技教育を行うとともに、芸術の普遍性見地から、ひろく東西の美意識に関わる哲学的・美学的・文化的反省に立つ芸術教育を行います。また、沖縄を中心とした南島文化の多様な実態と伝統芸術文化の特色を解明するために、それらを歴史的・理論的に追求する音楽構造学および民族音楽等の観点から、汎アジア的広がりにおける東洋芸術文化の学際的な教育を行います。これらの教育活動を通じて、芸術文化に対する深い理解と感性を持ち、想像力豊かで、将来の社会における音楽芸術分野の幅広い実践活動を担う演奏家や研究者、芸術教育の場における専門的指導者となり得る人材の育成を図ります。

本研究科の教育理念に基づき、次のような点を入学者選抜の判定の主眼としています。

- 1 幅広い教養と音楽芸術分野の専門的素養を備えているか。
- 2 専門分野の研究を行うのに必要な基礎的能力を備えているか。
- 3 現代社会において新しい芸術創造の営みを発信していく強い目的意識、意欲を備えているか。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽芸術研究科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、講義、演習、実技を組み合わせた授業科目を開講し、修士演奏・作品（副論文含む）並びに修士論文作成のための研究指導を行います。教育課程については、履修表及びカリキュラムマップにより、体系的や各科目間の関係性を示します。

- 1 研究計画に基づいた研究指導により、専門分野における精緻な技術を身につけます。また、関連科目の履修によって広い視野に立った学識を涵養します。
- 2 課題探求や洞察に必要な、論理的思考力やコミュニケーションスキル、情報リテラシーなど、研究に必要な基礎的素養を養います。
- 3 各専攻分野で獲得した能力を応用し、高度の専門性が求められる各分野の職業を担い得る卓越した能力を培います。

■ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科では、教育の理念に沿った高度な専門教育において成果をあげ、修士演奏、修士作品又は修士論文の提出を経て、所定の修了単位を取得した学生に対し、修士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 専門分野における高度な技術力を身につけている。
- 2 研究分野における高度な研究能力と論理的思考力を身につけている。
- 3 研究分野における知識、技術を言語化、理論化し、社会に発信する能力を身につけている。

II 募集人員（第Ⅰ期・第Ⅱ期の合計人数）

専攻	専修	募集人員
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修、琉球舞踊組踊専修	4
演奏芸術専攻	声楽専修、ピアノ専修、管弦打楽専修	8
音楽学専攻	音楽学専修、作曲専修	3

Ⅲ 出願資格

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者又は令和9年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部科学省令告示第5号）
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認められた者で、22歳に達したもの

※ 出願資格(9)、(10)の適用を受けようとする者、長期履修制度を利用する予定のある者は、次の期日までに教務学生課にメール（kyomu@okigei.ac.jp）で申し出ること。

<第Ⅰ期試験> 令和8年8月19日（水）まで

<第Ⅱ期試験> 令和8年10月29日（木）まで

【障害を有する者等の配慮の申請】

障がい等を有する等の理由により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、本学ウェブサイト「入試案内」に掲示している「受験上の配慮申請書」に必要事項を記入し、医師の診断書等を添付のうえ、次の期日までに教務学生課へ郵送により提出すること。

<第Ⅰ期試験> 令和8年8月19日（水）まで

<第Ⅱ期試験> 令和8年10月29日（木）まで

なお、必要に応じて面談等を行う。本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事例については、本学ウェブサイト「入試案内」を参照すること。

Ⅳ 選抜方法

入学者の選抜にあたっては専門試験、語学、基礎能力等の選抜試験及び成績証明書、履歴書等の各資料を総合して判定する。

V 試験日程

<第 I 期試験>

専攻／専修		10月24日（土）			10月25日（日）		
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修		実技試験 13:00～		基礎能力 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	面接 13:00～ 15:30
	琉球舞踊組踊専修	実技試験 9:30～					
演奏芸術専攻	声楽専修			実技試験 15:30～	基礎能力 1 8:30～ 9:30 基礎能力 2 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	面接 13:00～ 15:30
	ピアノ専修	実技試験 9:30～					
	管弦打楽専修		実技試験 13:00～				
音楽学専攻	音楽学専修	小論文 9:30～ 11:00	口述試験 14:00～			語学 11:00～ 12:00	
	作曲専修	口述試験 10:30～			基礎能力 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	

上記の試験時間は予定であり、志願者数によっては変更することもある。詳細については、10月23日(金)午後4時に本学管理棟前及びウェブサイトに掲示するので、必ず受験者自身で確認すること。演奏順は本学事務局があらかじめ抽選し掲示する。

【試験場および集合時間と集合場所】

- ◆試験場：沖縄県立芸術大学（那覇市首里当蔵町1-4）音楽棟および奏楽堂
- ◆集合時間：専門試験（実技試験・作曲専修の口述試験）は試験開始1時間前
その他の試験は試験開始30分前
- ◆集合場所：本学音楽棟学生ホール
ただし、演奏芸術専攻の専門試験（実技）は奏楽堂ホワイエ

<第Ⅱ期試験>

専攻／専修		1月30日（土）			1月31日（日）		
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修		実技試験 13:00～		基礎能力 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	面接 13:00～ 15:30
	琉球舞踊組踊専修	実技試験 9:30～					
演奏芸術専攻	声乐専修			実技試験 15:30～	基礎能力1 8:30～ 9:30 基礎能力2 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	面接 13:00～ 15:30
	ピアノ専修	実技試験 9:30～					
	管弦打楽専修		実技試験 13:00～				
音楽学専攻	音楽学専修	小論文 9:30～ 11:00	口述試験 14:00～			語学 11:00～ 12:00	
	作曲専修	口述試験 10:30～			基礎能力 9:45～ 10:45	語学 11:00～ 12:00	

上記の試験時間は予定であり、志願者数によっては変更することもある。詳細については、1月29日(金)午後4時に本学管理棟前及びウェブサイトに掲示するので、必ず受験者自身で確認すること。演奏順は本学事務局があらかじめ抽選し掲示する。

【試験場および集合時間と集合場所】

- ◆試験場：沖縄県立芸術大学（那覇市首里当蔵町1-4）音楽棟および奏楽堂
- ◆集合時間：専門試験（実技試験・作曲専修の口述試験）は試験開始1時間前
その他の試験は試験開始30分前
- ◆集合場所：本学音楽棟学生ホール
ただし、演奏芸術専攻の専門試験（実技）は奏楽堂ホワイエ

VI 試験科目、配点と試験曲等（第Ⅰ期試験・第Ⅱ期試験共通）

VI-1 試験科目

専攻／専修		専門試験	基礎能力	語学	面接
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	実技試験	琉球芸能史	琉球古典語 (辞書持込不可)	面接 (研究計画書持込可) * 3
	琉球舞踊組踊専修				
演奏芸術専攻	声乐専修		1 和声 2 西洋音楽史	英語 独語 仏語 伊語 上記4ヶ国語から 1科目選択 (辞書持込可) * 1	
	ピアノ専修				
	管弦打楽専修				
音楽学専攻	音楽学専修		口述試験	小論文 * 2	
	作曲専修	西洋音楽史		英語 独語 仏語 伊語 上記4ヶ国語から 1科目選択 (辞書持込可) * 1	

* 1 ただし、電子辞書は不可。

* 2 当日、提示する出題文に沿って、論述を求める。

* 3 研究計画書に基づき15分程度の面接を実施する。

VI-2 配点と試験曲

専修	総点	配点比			
		専門試験	基礎能力	語学	面接
琉球古典音楽専修	100	80	15	5	
琉球舞踊組踊専修	100				
声乐専修	100				
ピアノ専修	100				
管弦打楽専修	100				
音楽学専修	100	60	20	20	
作曲専修	100	80	20		

琉球古典音楽専修

試験曲等

歌三線、琉球箏のいずれかを選択し、それぞれ指定された科目を受験する。

【歌三線】

1. 昔節「作田節」「ちゃんな節」「しょどん節」より当日1曲を指定
2. 二揚独唱曲「散山節」「仲風節」「述懐節」より当日1曲を指定
3. 地謡「総掛」「花風」より1つを選択

*試験曲は、暗譜で独唱すること。

*3は立方を伴う。立方は受験生が同伴し稽古着を着用。小道具は持参すること。

*時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

【琉球箏】

1. 「江戸菅攪・拍子菅攪・佐武也菅攪(三段～五段)」「六段菅攪」「七段菅攪」より当日1曲を指定
2. 昔節「ちゃんな節」「首里節」より当日1曲を指定
3. 地謡「総掛」「花風」より1つを選択

*試験曲は、暗譜で独唱すること。

*3は立方を伴う。立方は受験生が同伴し稽古着を着用。小道具は持参すること。

*時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

琉球舞踊組踊専修

試験曲等

琉球舞踊、組踊のいずれかを選択し、それぞれ指定された科目を受験する。

【琉球舞踊】

1. 女踊「伊野波節」「諸屯」「作田」より当日1演目を指定
2. 二才踊「ぜい」「前の浜」「高平良万才」より1演目を選択
3. 雑踊「むんじゅる」「花風」より1演目を選択

*地謡は受験生が同伴すること(三線2名、太鼓1名)。

稽古着(長着)を着用。小道具は持参すること。

*時間の都合により演技の一部省略または中断を求めることがある。

【組踊】

1. 組踊「執心鐘入」「二童敵討」「女物狂」(各役の唱え)より当日1演目を指定
2. 女踊「伊野波節」「諸屯」より1演目を選択
3. 二才踊「前の浜」「高平良万才」より1演目を選択

*地謡は受験生が同伴すること(三線2名、太鼓1名)。

稽古着(長着)を着用。小道具は持参すること。

*1の組踊台本は大学側で準備する。

*時間の都合により演技の一部省略または中断を求めることがある。

演奏芸術専攻

声楽専修

試験曲等

- A. オペラアリア 2 曲 (ただし、うち 1 曲は宗教曲のアリアも可)
B. 歌曲 1 曲

- * 曲目はそれぞれ異なる曲を計 3 曲とし、自由選択とする。ただし、この 3 曲の中に W. A. Mozart の声楽曲を 1 曲含むこと。
- * A・B 3 曲の合計時間は 10～15 分とする (曲間を含む)。
- * 同一作曲家の作品は 1 曲のみとする。
- * 歌唱は暗譜で行うこととし、伴奏者は受験生が同伴すること。ただし、遠隔地 (沖縄本島以外) の受験者に限り、大学が用意することも可能である。10 ページ「VII 受験上の注意」を参照のこと。
- * 実技試験の演奏順は、受験曲目提出用紙に記入した順とする。
- * 前奏、間奏、後奏は省略することも可。ただし、カット箇所を記入の上、受験曲目の楽譜を出願時に提出すること。
- * 時間の都合により、演奏の一部、または演奏曲の省略、中断を求めることがある。

ピアノ専修

試験曲等

- A. J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven のソナタより 1 曲 (全楽章)
B. 上記で選択した作曲家以外の、任意のピアノ独奏用作品 (複数曲でも可)

- * A、B 両方の演奏合計時間が 30 分以上。
- * B の作品は、出版されている作品に限る。内部奏法を指示した作品は除く。
- * A、B の順に演奏すること。
- * 演奏は暗譜であること。
- * 繰り返しは自由とする。
- * 時間の都合により、演奏の一部省略、または中断を求めることがある。

管弦打楽専修

試験曲等

以下より任意の 1 曲を選択し、全楽章を演奏すること。
カデンツァがある曲については任意のカデンツァを含む。
ピアノによる伴奏つき。暗譜で演奏すること。
伴奏者については受験生が同伴すること。

- * 時間の都合により試験当日、前奏、間奏、後奏及びソロパートの一部を省略または中断を求めることがある。

<ヴァイオリン>

1. F. Mendelssohn : ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64
2. P. I. Tchaikovsky : ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35
3. 上記 1. 2. の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< ヴィオラ >

1. F. A. Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲 ニ長調
2. C. P. Stamitz : ヴィオラ協奏曲 第1番 ニ長調
3. 上記1. 2. の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< チェロ >

1. A. Dvořák : チェロ協奏曲 ロ短調 作品104
2. E. Lalo : チェロ協奏曲 ニ短調
3. 上記1. 2. の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< コントラバス >

1. D. Dragonetti : コントラバス協奏曲 イ長調
2. S. Koussevitzky : コントラバス協奏曲 嬰へ短調 作品3
3. 上記1. 2. の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< フルート >

1. W. A. Mozart : フルート協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 (285c)
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< オーボエ >

1. W. A. Mozart : オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314 (285d)
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< クラリネット >

1. W. A. Mozart : クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< ファゴット >

1. W. A. Mozart : ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191 (186e)
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< サクソフォーン >

1. J. Ibert : アルトサクソフォーン室内小協奏曲
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< ホルン >

1. R. Strauss : ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 作品11
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< トランペット >

1. J. Haydn : トランペット協奏曲 変ホ長調
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< トロンボーン >

1. F. David : トロンボーン協奏曲 変ロ長調
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

< バストロンボーン >

1. V. Nelhybel : バストロンボーン協奏曲
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

<ユーフォニアム>

1. J. Horowitz : ユーフォニアム協奏曲
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

<テューバ>

1. R. Vaughan Williams : テューバ協奏曲
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

<打楽器>

1. A. Jolivet : 打楽器協奏曲
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

<マリンバ>

1. A. Koppel : マリンバ協奏曲第1番
2. 上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

音楽学専攻

音楽学専修

口述試験

小論文と研究計画書に関する口述試験

* 研究計画書の提出

本学所定の様式に記入すること。

口述試験の際に、自分用の控えを持参すること。

作曲専修

口述試験

提出作品、作曲理論の学習歴および研究計画に関する口述試験（研究計画書持込可）

* 作曲作品の提出

楽譜3点以内とし、入学願書書類封筒に封入し、郵送すること。（直接持参は受付ない。）

口述試験の際に、提出した楽譜の控えを持参すること。

Ⅶ 受験上の注意

- 1 試験に関する諸事項は、全て首里当蔵キャンパス管理棟前に掲示するので、常に注意すること。
- 2 実技試験における試験の順番は、係員の指示に従うこと。
- 3 試験当日の集合時間・場所は厳守すること（3ページ参照）。決められた集合時間に遅れた者の受験は原則として認めない。やむを得ない事情により遅刻した場合はただちに係員に申し出ること。
- 4 伴奏者について
 - ①受験生が同伴する場合は、出願時に伴奏者氏名の記入欄に記入すること。
 - ②声楽専修を受験する者のうち、大学が用意することを希望した場合は、出願時に「大学が用意することを希望」を選択し、出願書類と共に伴奏楽譜を提出すること。伴奏合わせ日程は、第Ⅰ期試験は令和8年10月23日（金）、第Ⅱ期試験は令和9年1月29日（金）を予定しているが、詳細については出願書類受理後の事務局からの連絡に従うこと。受験生からの時間帯の指定は出来ない。
- 5 試験当日の受験生（伴奏者を含む）は指定された場所に集合し、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- 6 実技試験前の練習室の使用については、当日、集合場所において指示する。
- 7 受験の際には常に受験票を携帯すること。万一、受験票を忘れたり紛失した場合は速やかに係員に申し出ること。
- 8 楽器の持参等について
 - ①実技試験で使用する楽器のうち、ピアノ、打楽器、マリンバ以外は各自持参すること。
 - ②コントラバスについて、楽器を持参できない場合は本学で用意することが可能である。楽器を持参するか否かを出願時に選択すること。
- 9 打楽器受験者は、A4の用紙に使用楽器及び楽器の配置を記入して（様式は自由）出願時に提出すること。
- 10 試験内容に関する問い合わせには応じない。

Ⅷ 不正行為

- 1 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
 - ・提出作品、研究計画書の全部または一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合。
 - ・提出作品、研究計画書において、生成AIの出力結果が使用されていると判断された場合。
 - ・入学志願者本人以外の者（生成AIの利用を含む）による試験解答、研究計画書への関与。
 - ・監督者の指示に従わない場合。
 - ・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合。
 - ・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にした場合。
 - ・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為。
- 2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。
 - ・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - ・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合。

Ⅸ 出願手続き

1 出願期間

第Ⅰ期試験	令和8年9月18日（金）から同9月28日（月）まで
第Ⅱ期試験	令和8年12月7日（月）から同12月14日（月）まで

- * 出願はすべて郵送（速達・書留）によるものとする（普通郵便及び直接持参は受理しない）。
- * 発信局消印が上記の期間内のものを有効とする。

2 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

出願手続きについては「オンライン出願サイト」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願サイト(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

入学考査料について

ア 30,000円

※納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、第Ⅰ期試験は令和8年9月28日（月）までに、第Ⅱ期試験は令和8年12月14日（月）までに納付すること。

※クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかるため留意すること。

※領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

* オンライン出願は、下記書類を郵送（速達・書留）するまでが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

3 出願書類等

オンライン出願サイト(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)のマイページより下記①④の書類を印刷し、必要事項を記載の上、②③⑤の書類（⑤は要提出者のみ）とともに教務学生課に郵送すること。なお、⑥⑦は出願期間内に同提出先に願書等出願書類と別便で郵送（速達・書留）すること。

* 願書等の受理後はいかなる事情があっても書類の変更、考査料の払戻はしない。

書類	様式・書式	記入要領等
①入学志願票	オンライン出願ページから入学志願票を印刷し提出すること	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ 外国人志願者の氏名について、「氏名（漢字）欄」は、旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、カタカナで記入すること。入学後も英字氏名で表記する。 ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を記入すること。入力時の住所でよい。

		<p>エ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。</p> <p>オ 「学歴欄」は、以下のとおり出願資格により必要となる教育機関の学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。</p> <p>(ア) III出願資格1(1)、(2)、(7)又は(8)に該当する志願者 高等学校以降の教育機関</p> <p>(イ) III出願資格1(3)、(4)、(5)、(6)、(9)又は(10)に該当する志願者 すべての教育機関（小学校以降）</p> <p>カ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。なお、写真は修正・加工をしないこと。<u>写真は入学後の学生証にも使用する。</u></p>
②卒業証明書又は卒業見込証明書 (大学又は最終学校)	様式随意	<p>出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 (本学の卒業生及び卒業見込者は不要)</p> <p>日本国以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。</p> <p>※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込みの者については同機構による授与申請を受理した証明書（学位授与申請受理証明書）</p>
③成績証明書	様式随意	<p>出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 (本学の卒業生及び卒業見込者は不要)</p> <p>日本国以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。</p>
④研究計画書	本学所定の様式	<p>オンライン出願ページから研究計画書の様式をダウンロードし必要事項を記入すること。詳細は提出用紙の注記を参照のこと。</p>
⑤その他の書類 (住民票抄本)	様式随意	<p>県内居住者は入学料の額が軽減されるので、令和8年4月1日以前から県内に住所を有することを証明する本人か配偶者、又は一親等親族の住民票抄本を必ず提出すること。</p>
⑥作曲作品 (作曲専修受験者のみ)	様式随意	<p>提出は3点以内とし、製本をせずに、クリップ等でまとめておくこと。</p>
⑦受験曲楽譜 (声楽専修受験者のみ)	様式随意	<p>受験曲目の楽譜提出。(カットのある場合はその箇所を明記する。) (提出された楽譜は返却しない。)</p>

4 入学志願票等提出先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4
 沖縄県立芸術大学教務学生課（音楽担当）あて
 電話 098-882-5080

5 受験票について

受験票は、出願書類受理後に「オンライン出願サイト」マイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。

6 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入した氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ① 入学試験実施（出願処理等）
- ② 合否通知、入学手続き書類の送付
- ③ 入試成績の情報提供
- ④ 学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤ 学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑥ 大学の施設・設備の使用に関する管理、連絡および手続き
- ⑦ 本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧ 個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ① 利用者の事前の承諾を得た場合
- ② 業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③ 法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

X 外国人志願者に対する特別措置

外国人で入学を志願する者は、本要項に定める事項のほか、以下の定めによる。

◆出願資格

- ① 本学大学院の授業を理解できる程度の日本語能力を有すること。
- ② 第Ⅱ期試験については、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

◆出願手続き

1 出願書類

本要項に定める書類（11、12ページに記載）のほか、以下の書類等を提出しなければならない。

- (1) 日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2以上に合格していると証明できる成績証明書（原本）又は以下の受験票の写し
＜第Ⅰ期試験＞ 令和8年（2026年）7月5日実施の日本語能力試験（JLPT）の受験票
＜第Ⅱ期試験＞ 令和8年（2026年）12月6日実施の日本語能力試験（JLPT）の受験票
※令和7年7月以前に日本語能力試験（JLPT）を受験した場合は、N2の112点以上の成績証明書（原本）を提出すること。

※出願時から2年以内に本学学部生、研究生として在学し、上記基準を満たしていることが確認できる書類を提出済みの場合は省略可。

(2) 学費・生活費の負担能力を証明する書類

※1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。

・本人が支弁する場合

銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本

・海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合

経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本

・本人以外の日本国内居住者が支弁する場合

経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本

(3) 旅券の写し、又は在留カードの表裏両面の写し

<第Ⅰ期試験>

① 旅券の写し

② 在留カードの表裏両面の写し又は在留資格情報のある住民票(原本)

※②は在留資格を有している場合のみ提出。

<第Ⅱ期試験>

① 旅券の写し

② 在留カードの表裏両面の写し又は在留資格情報のある住民票(原本)

2 入学手続き

入学手続きの際に、住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、在留カードの表裏両面の写し（または外国人登録証明書）を提出すること。

※日本入国の査証申請及び在留資格の取得手続きは、入学手続きとは別に、入学希望者が本人の責任で行うこと。

◆入試科目

本要項の5ページに記載。ただし、語学にかえて、日本語能力を確認するための面接を行う。

外国人志願者に対する特別措置について、不明な点は教務学生課に問い合わせること。

電話 098-882-5080 FAX 098-882-5033 教務学生課 E-mail kyomu@okigei.ac.jp

X I 合格発表

第Ⅰ期試験	令和8年10月27日（火）午前10:00予定 ※本学ウェブサイトに掲載
第Ⅱ期試験	令和9年2月5日（金）午前10:00予定 ※本学ウェブサイトに掲載

*合格者には発表と同時に文書で通知し、入学手続きについても指示する。

*電話での問い合わせには一切応じない。

*入学手続き終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月1日(月)以降に「追加合格者の決定」を行い本人に直接連絡（電話等）するので、3月1日(月)から3月5日(金)までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学側から行き、受験者からの問い合わせには応じない。）

X II 入学手続き

期間：

第Ⅰ期試験	令和8年10月29日（木）から同11月3日（火）まで ※消印有効
第Ⅱ期試験	令和9年2月10日（水）から同2月16日（火）まで ※消印有効

納付金の納入：

入学料 県内居住者 282,000円、その他の者 512,000円

納入期限

第Ⅰ期試験	令和8年10月29日（木）から同11月3日（火）まで
第Ⅱ期試験	令和9年2月10日（水）から同2月16日（火）まで

授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）

納入期限 令和9年4月30日（金）まで

※ 納入期限が、土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

また、授業料等の改正が行われた場合には、改正後の授業料が適用される予定である。

※ 長期履修制度については17ページおよび大学ウェブサイトを確認すること。

県内居住者とは、各号のいずれかに該当する者をいう（住民票による証明が必要です）。

(1) 入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者

(2) 入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者

* 入学料及び授業料の減免について

原則として大学の学業成績の平均が2.0（良）以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

1 天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者

2 生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯にある者

3 前項のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

合格取消：令和9年3月31日（水）までに「Ⅲ 出願資格」に掲げる要件を満たすことができない場合には、合格を取り消すものとする。

※外国人にあっては、「Ⅲ 出願資格」のほか、「X 外国人志願者に対する特別措置」に掲げる要件を満たすことができない場合も同様とする。

X III 過去の試験問題の公表

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科では、過去の入学試験問題（語学・基礎能力）を本学ウェブサイトにて公表している。

XIV 入試成績の情報提供について

個人情報保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を請求することができる。

- (1) 提供する内容 当該年度を受験科目の総点及び専門試験の得点を所定の様式により提供する。
- (2) 提供依頼できる期間

第Ⅰ期試験	令和8年11月4日（火）から同12月2日（火）まで
第Ⅱ期試験	令和9年3月2日（月）から同3月31日（火）まで

※9時から17時まで（土・日、祝日を除く）

- (3) 提供依頼の受付を行う場所
本学教務学生課
- (4) 提供の方法
本人部分のみ閲覧
- (5) 提供依頼に必要な書類
受験票のほか、本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険被保険者証、旅券を持参すること。
- (6) 提供依頼の方法
受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。
- (7) その他
電話による問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者は、個人情報保護に関する法律に基づく手続きが必要となる。
手続き方法については、本学ウェブサイト参照すること。

XV 入試説明会

実施日時：令和8年7月24日（金） 17:40開始予定

- ※ 対面およびオンラインで実施する。
- ※ 参加にあたっては、事前に申し込みを行うこと。
- ※ 入試説明会への参加の有無は試験の合否に影響しない。
- ※ 第Ⅱ期試験出願予定者については、11月中旬から下旬頃に個別相談を受け付ける。
- ※ 入試説明会等の詳細は本学ウェブサイトを確認すること。

■大学院案内■

■専修免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭専修免許状(音楽)と高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得することができる。ただし、当該教科等の1種免許状を取得済みであること。

■学芸員資格

博物館学課程所定の単位を修得すれば、学芸員の資格を取得することができる。

■長期履修制度

職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度で、音楽芸術研究科における長期履修の修業年限は3年、在学年限は4年である。

授業料の総額は、2年間の授業料総額(535,800円×2年=1,071,600円)と同額で、1年あたりの授業料は当該金額を3年間で分割した額(1,071,600円÷3年=357,200円)となる。

対象者は、以下のとおりである。なお、事前申請が必要であり、承認された場合のみ長期履修生となることができる。

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者
 - ②育児、介護を行う者
 - ③その他やむを得ない事情を有し、修行年限での修了が困難な者
- ※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

■学生教育研究災害傷害保険等への加入

学生教育研究災害傷害保険(以下「学研災」という。)は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険(以下「付帯賠」という。)は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等々は引受保険会社と直接行うこととなる。(加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。)

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金(保険料)と保険期間

	掛金(保険料)合計金額(2年間分)	保険期間
学生教育研究災害傷害保険	1,750円	2年
学研災付帯賠償責任保険	680円	

(注) この保険に関する照会は、本学教務学生課に行うこと。

■ 大学院研究室一覧 ■

令和9年4月

専攻	専修	研究室	担当教員
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	琉球古典音楽研究室	☆ ※1 仲嶺 伸吾 教授 (安富祖流)
			☆ 山内 昌也 教授 (野村流)
	琉球舞踊組踊専修	組踊研究室	☆ 比嘉 いずみ 教授(兼)
			阿嘉 修 准教授
琉球舞踊組踊専修	琉球舞踊研究室	☆ 比嘉 いずみ 教授	
		嘉数 道彦 准教授	
演奏芸術専攻	声乐専修	声乐研究室	☆ 山下 牧子 教授
			山内 昌也 准教授
			松田 奈緒美 准教授
	ピアノ専修	ピアノ研究室	☆ 小杉 裕一 教授
			☆ 小沢 麻由子 教授
	管弦打楽専修	弦楽研究室	☆ 岡田 光樹 教授 (ヴァイオリン)
			☆ 林 裕 教授 (チェロ)
	管弦打楽専修	管打楽研究室	☆ ※2 阿部 雅人 教授 (ホルン)
			☆ 澤村 康恵 教授 (クラリネット)
	管弦打楽専修	管打楽研究室	倉橋 健 教授 (トランペット)
屋比久 理夏 准教授 (打楽器)			
管弦打楽専修	管打楽研究室	江戸 聖一郎 講師 (フルート)	
		(オーボエ)	
管弦打楽専修	管打楽研究室	(ファゴット)	
		(サクソフォーン)	
管弦打楽専修	管打楽研究室	(トロンボーン)	
		(ユーフォニアム)	
管弦打楽専修	管打楽研究室	(チューバ)	
音楽学専攻	音楽学専修	音楽史研究室	☆ 高瀬 澄子 教授 (日本音楽史)
		民族音楽学研究室	倉橋 玲子 准教授 (西洋音楽史)
		舞踊芸能論研究室	向井 大策 准教授 (西洋音楽史)
	音楽学専修	舞踊芸能論研究室	遠藤 美奈 准教授 (民族音楽学)
新任教員			
音楽学専攻	作曲専修	作曲研究室	☆ ※2 塚本 一実 教授
			土井 智恵子 准教授

☆印は、研究指導教員

※1は、令和10年3月31日退職予定

※2は、令和11年3月31日退職予定

研究計画書 (舞台芸術専攻・演奏芸術専攻・音楽学専攻作曲専修)

*太枠のみ記入すること。

受験番号		専修	氏名	
1. 研究テーマ及び概要 入学後の研究テーマと目的、およびその設定理由について、記してください。				
【研究テーマ】				
【研究の目的】				
【研究テーマ設定の理由 (実技と研究のそれぞれについて具体的に言及すること)】				

(1/2)

研究計画書 (つづき)

2. 研究の計画

研究対象とする作品をあげて、2年間の具体的な研究方法を年次に分けて記してください。

なお、長期履修制度*での履修を希望する場合は、【2年次】の枠内で適宜記載してください。

【1年次】

【2年次】

*長期履修制度については、17ページを参照のこと。

研究計画書 (音楽学専攻音楽学専修)

*太枠のみ記入すること。

受験番号		氏名	
1. 研究題目			
2. 研究テーマの選択に至る経緯 (500~600字程度) この研究テーマを選んだ動機、このテーマに関するこれまでの学習の概要、参照した文献や調査した資料などについて、詳しく述べなさい。			

(1/2)

研究計画書 (つづき)

3. 学習と研究の計画 (800～900 字程度)

修士課程において、何について学習し、何をどのように研究したいか、目的と方法について、計画を述べなさい。

(2/2)

出願書類等一覧表

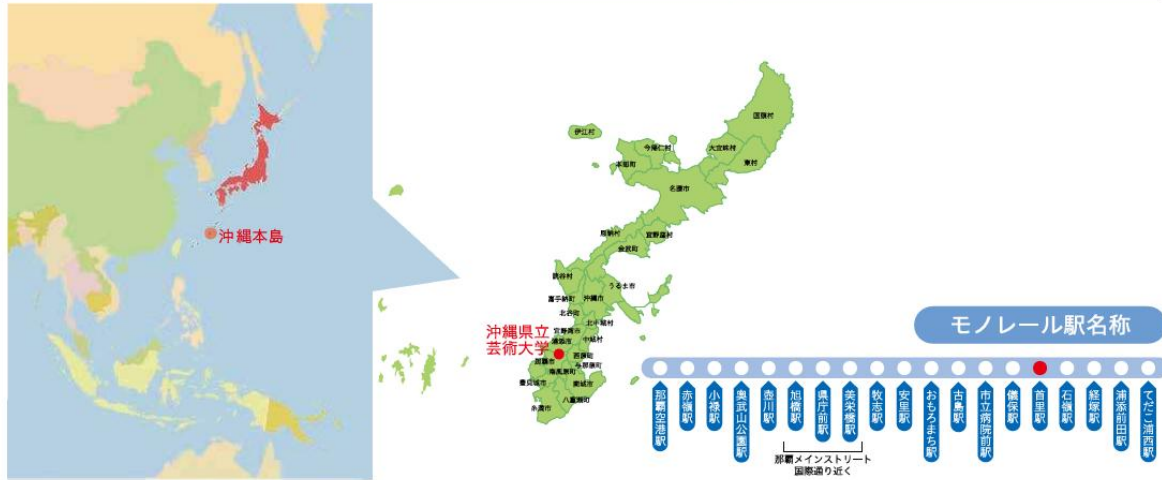
氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序		オンライン出願 チェック欄
1	入学志願票	<input type="checkbox"/>
2	卒業証明書又は卒業見込証明書 ※本学の卒業生及び卒業見込者は不要	<input type="checkbox"/>
	日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 (志願者が訳し署名したもので可)	<input type="checkbox"/>
3	成績証明書	<input type="checkbox"/>
	日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 (志願者が訳し署名したもので可)	<input type="checkbox"/>
4	研究計画書	<input type="checkbox"/>
5	(入学の日の1年以前から沖縄県内に住所を有する場合のみ) 住民票抄本	<input type="checkbox"/>
6	(外国人志願者のみ) 日本語能力を証明できる書類 日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する。	<input type="checkbox"/>
7	(外国人志願者のみ) 学費・生活費の負担能力を証明する書類	<input type="checkbox"/>
8	(外国人志願者のみ・第Ⅰ期試験) 旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	<input type="checkbox"/>
	(外国人志願者のみ・第Ⅱ期試験) 旅券及び在留カード表裏両面の写し	
9	(作曲専修受験者のみ) 作曲作品	<input type="checkbox"/>
10	(声楽専修受験者のみ) 受験曲楽譜	<input type="checkbox"/>

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts



沖縄県立芸術大学周辺略図

【交通案内】首里当蔵キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅より徒歩約10分
- バス利用の場合 「当蔵」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [1] 首里牧志線 [7][8] 首里城下町線
[14] 牧志那南循環線 [17] 石嶺(那南)線
[346] 那覇西原線(鳥堀経由)

【交通案内】首里崎山キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約3分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅からタクシー利用で約6分
- バス利用の場合
○「芸大崎山キャンパス前」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [15] 寒川線
○「那覇インター前」バス停下車、徒歩5分
系統番号 [1] 首里牧志線 [14] 牧志那南循環線 [15] 寒川線 [16] 新川石嶺線
[18] 首里駅前(一周線) [19] 首里駅循環線 [111] [117] 高速バス
[113] 具志川空港線 [123] 石川空港線
[127] 屋敷名高速線 [152] ライカム高速線
[191] [391] 城間線 (一日線経由)

【交通案内】首里金城キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅からタクシー利用で約8分
- バス利用の場合
「芸大第3キャンパス前」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [7][8] 首里城下町線

首里崎山キャンパス

松川、金城ダム、デザイン中央棟、工芸棟、彫刻棟、南部医療センター、識名トンネル、那覇インター前(バス停)、モノレール首里駅、芸大崎山キャンパス前(バス停)